



2020
令和2年

3

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階 A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

人気上昇で年5回の大会は盛況



狛江市卓球連盟

会場いっぱい激戦が展開される市民卓球オープン大会

狛江市卓球連盟（井上城治会長）は、卓球の普及と発展、会員の健康増進と親睦を目的に活動している。昭和39年に企業チームや愛好家が交流を目的に発足、43年の狛江市体育協会発足と同時に加盟した。

51年から体協主催・教育委員会後援の市民体育大会開催に合わせて組織を

整備し、卓球大会を増やした。現在は、春に団体戦、秋に市民と登録団体・個人を対象にした市民大会（シングルス、ダブルス）、会員の親睦を目的としたお楽しみ会を2回、平成5年度から冬に技術の向上を目的とした市民卓球オープン大会と、内容が異なる5つの大会を毎年開いている。オープン大会には市外の参加も多く、300人以上がエントリーする。都・市町村卓球連盟にも所属し、市民大会の成績優秀者は都民大会や都市町村大会へ代表として出場する。このほか、調

布市など近隣の団体とも交流している。連盟には現在、16団体26チームが加盟、若干の個人会員を含め300人以上が所属している。平均年齢は50代後半だが、試合には80代のシニアも出場する。各団体から選ばれた理事が毎月1回理事会を開き、連盟や大会などの運営を協議する。スポーツ推進委員が行う卓球教室の運営に協力するほか、中学校の部活に指導員を派遣して普及活動も行っている。

副会長の武田新栄さんによると、最近では日本人選手の活躍に刺激されて人気が高まり、若い人の加入もみられるという。問い合わせ☎3480-2616 武田さん。

成績を残している。日本ランキングは51位で、学生ランキングでは6位だが、そのうち2人は引退する4年生のため、実質的な成績は4位。

オールラウンドで粘り強いプレーと強いサーブを得意とする田形さんは「テニスのおもしろさは、個人スポーツで、長い試合の最中に常に相手と自分の駆け引きがあり、多くのチャンスがあるところ」と話し、「まだ取ったことのない全国大会のタイトルが目標」と意欲をみせる。錦織圭選手が好きで「テニス選手としては小柄なのに攻めのプレーができるところがすごい」という。テニス以外の好きなスポーツは、やはりラケットを使う卓球で、趣味はボウリング。

田形さんは狛江市民に向け「これからもがんばってプレーしますので、ぜひ応援してください」と話している。



=最終回=

身近なスポーツとして高い人気



ネット越しの熱闘が見られる秋季大会

狛江市バレーボール協会（栗山和美会長）は、バレーボールを楽しみながら心身の鍛錬とアマチュアスポーツ精神を理解し、社会人活動の規範と相互親睦の精神の養成を図ることを目的にしている。

昭和44年の町民バレーボール大会に参加したPTAママさんチーム、企業チームなどが設立を準備、45年10月の

市制施行にあわせて発足した。翌月に市制施行記念秋季バレーボール大会を開催、46年に体育協会に加盟した。

大会は、設立当初は9人制だったが、51年に男子、52年に女子の6人制の試合も行うようになった。当初は学校のグラウンドを借りて屋外

で大会を開いたが、その後は市内の小中学校や狛江高等学校の体育館を借りて屋内で実施。61年の市民総合体育館オープン後は同館で市民春季大会と市民秋季大会を催している。大会には、男子は高校生から学校のおやじの会などさまざまなチーム、女子はPTAのママさんバレーが中心。女子は9人制の参加チー

ムが多いのが特徴。各大会の優勝チームは都民大会や都市町村大会、調布市、府中市などの近隣自治体で開催される大会などへ出場している。また、市外の大会に審判や役員を派遣する。

協会には現在、男子2チーム、女子5チームが所属している。

技術の向上を目的に元オリンピック選手が指導する教室が好評なほか、小学生対象のジュニアバレーボール教室を開き、愛好家の育成にも力を入れている。栗山会長らは「バレーボールは経験者も多く、身近なスポーツとして人気が高い。今後は大会の裏方などを担う協会加盟団体を増やしたい」と話している。

問い合わせ☎komae.volleykyokai@gmail.com同協会。

狛江第一中学校

狛江市立狛江第一中学校（吉田知弘校長）には野球、男女ハンドボール、卓球、サッカー、女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、初級スポーツ部の8つの運動部がある。生徒数は392人（令和元年12月現在）で、部員が少ないため他校と合同チームを組んで試合をする部もあるが、どの部も熱心に練習に取り組んでいる。また、複数顧問制にして特定の教諭に負担がかかり過ぎないようにするとともに、外部指導員を招いて技術指導をしている部もある。全体的に男女関係なく仲良く活動する雰囲気があり、サッカー部には女子も入っている。



シュート練習に励む部員たち

初心者のため、基礎となるボールの投げ方から始め、半年くらいかけて試合ができるようになるまでじっくりと指導を受ける。また、技術面だけでなく部員同士のきずなの深まりや精神面の成長も目指しているという。

今年度は東京都中学校ハンドボール春季大会で男子はベスト16に入ったほか、10月の新人大会でベスト8に進むなど着実に成績を上げており、来年度の活躍も期待される。

部長で2年生の牧野蓮さんは「ハンドボールはオフェンスとディフェンスの両方をやるので大変ですが、シュートを決めた時は気持ち良いです。より強くなって関東大会に出られるようにがんばりたい」と意欲を燃やしている。

男女ハンドボール部

「球技の格闘技」に挑む

男女ハンドボール部は平成26年に前任の顧問が経験者だったことから設立され、30年か



狛江市バレーボール協会

ムが多いのが特徴。各大会の優勝チームは都民大会や都市町村大会、調布市、府中市などの近隣自治体で開催される大会などへ出場している。また、市外の大会に審判や役員を派遣する。

協会には現在、男子2チーム、女子5チームが所属している。

技術の向上を目的に元オリンピック選手が指導する教室が好評なほか、小学生対象のジュニアバレーボール教室を開き、愛好家の育成にも力を入れている。

栗山会長らは「バレーボールは経験者も多く、身近なスポーツとして人気が高い。今後は大会の裏方などを担う協会加盟団体を増やしたい」と話している。

問い合わせ☎komae.volleykyokai@gmail.com同協会。

3月のスポーツカレンダー

バドミントン 2・9・16・23・30日 月11:25西和泉体育館 ☎ 080-1327-9789松沼

体操教室(男女) 2・16・23・30日 月19:00市民総合体育館 ☎ 090-5829-8069前川

ショートテニス 3・10・17・24・31日 月11:25西和泉体育館 ☎ 090-5829-8069前川

バレーボール 4・11・18・25日 月16:15西和泉体育館 ☎ 090-1437-2420田村

卓球を楽しむ会 9日 月・28日 月 9:00市民総合体育館 ☎ 090-9103-7131山本

吹き矢教室 12日 月 9:00・28日 月 11:25市民総合体育館 ☎ 090-1437-2420田村

* イベント名、開催日・期間、開始時間、会場、主催、お問い合わせ先(2回目以降は電話番号省略)の順。

テニス 田形諒平さん

目標は全国大会のタイトル

田形諒平さん(20)は東京都の「東京アスリート認定選手」に3年連続で選ばれ、硬式テニス界のホープとして活躍が期待されている。

横浜市青葉区で3人兄弟の末っ子として生まれた田形さんは川崎市麻生区を経て、中学2年の時、狛江市へ転居、狛江第二中学校を経て大成高等学校卒業までの5年間を狛江で過ごした。筑波大学体育専門学群に入学、現在は茨城県つくば市に住み、大学へ通っている。

5歳の時に父と兄のプレーを見て影響を受け、自宅の近くのテニススクールに通い始めた。8歳で選手育成を目標とする町田市のクラブに変わり、小学6年



生で全国大会に出場、準優勝した。中学からは狛江インドアジュニアATPチームに入って実力を伸ばし中学3年生の時に全国中学生大会のシングルスでベスト4位、ダブルスで狛江二中の同級生と組んで優勝を飾った。高校2年生で全日本ジュニアU18のベスト4位に入った。現在、筑波大体育会硬式庭球部に所属し、全日本テニス選手権大会などの大会に出場、昨年は全日本学生室内テニス選手権で4位の